

I 施設の概要		施設コード	S07-02-01	
施設名	清掃リサイクル事務所			
所在地	町屋五丁目19番1号			
部課名	環境清掃部清掃リサイクル推進課			
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)	
			国・都	区債
			一般財源	
建築	昭和45年7月 (旧館)	219,907		
増改築①	昭和61年3月 (新館)	-		
増改築②				
併設施設				
竣工年月日	昭和45年7月		区職員	その他
供用開始年月日	昭和45年7月	職員数	82人	
構造	鉄筋コンクリート造	階層	新館: 地上3階 旧館: 地上4階	
面積	敷地面積	1,855 m ²		
	延床面積	新館: 735.85m ² 旧館: 1082.75m ²		
設置目的・経緯	廃棄物の収集・運搬等の作業 ※清掃事業の区移管 (平成12年4月)			
関連部署	環境課			
根拠法令等 設置条例	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 荒川区廃棄物の処理及び再利用に関する条例等			
駐車場の状況	有	バリアフリー	○ エレベーター	● トイレ
駐輪場の状況	有	対応状況	○ 点字ブロック	○ スロープ



管理形態	直営	—	期間	—	から まで	
事業内容	廃棄物の収集・運搬等の作業、清掃車両駐車スペース、清掃リサイクル業務従事職員の執務室・来庁者対応窓口等					
対象者	清掃リサイクル推進課職員、区民・事業者					
運営時間等	運営時間	午前7時40分～午後5時15分				
	休日	日曜日、年末年始の指定日				
施設基本データ等		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
	作業（開所）日数（日）	310	310	310	310	310
	電気使用量（kwh）	83,787	84,275	85,557	83,356	—
	ガス使用量（m3）	33,858	33,662	36,501	34,500	—
	水道使用量（m3）	5,883	6,134	7,075	5,442	—
に指定 用等 管理 費理						
備考	電気、ガス、水道の使用量はほぼ横ばいである。					

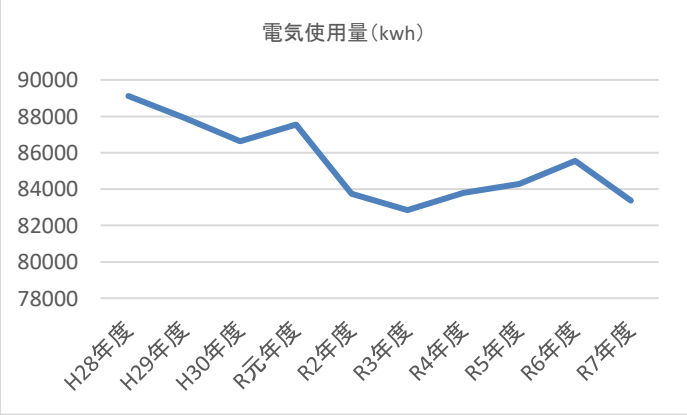
(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		R6年度	R7年度	差額	勘定科目		R6年度	R7年度	差額
	行政費用	給与関係費	605,085	634,150	29,065	行政収入	地方税等	0	0	0
		物件費	24,537	25,219	682		国庫支出金	0	0	0
		維持補修費	1,162	2,378	1,216		都支出金	0	0	0
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	0	0	0		使用料及び手数料	162	150	▲ 12
		減価償却費	5,519	5,515	▲ 4		その他	114	134	20
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	276	284	8
		賞与・退職給与引当金繰入額	55,705	137,224	81,519		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 691,732	▲ 804,202	▲ 112,470
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0
行政費用合計(b)		692,008	804,486	112,478	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 691,732	▲ 804,202	▲ 112,470	
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 691,732	▲ 804,202	▲ 112,470	
貸借対照表	勘定科目		R6年度	R7年度	差額	勘定科目		R6年度	R7年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債		34,947	37,273	2,326
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0	0
	固定資産	有形固定資産	391,936	388,439	▲ 3,497	賞与引当金	34,947	37,273	2,326	
		土地	326,611	326,611	0	その他の流動負債	0	0	0	
		建物	278,181	279,467	1,286	固定負債	613,824	672,399	58,575	
		建物減価償却累計額	▲ 212,856	▲ 217,639	▲ 4,783	特別区債	0	0	0	
		工作物等	3,749	3,749	0	退職給与引当金	613,824	672,399	58,575	
		工作物等減価償却累計額	▲ 3,749	▲ 3,749	0	その他の固定負債	0	0	0	
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	648,771	709,672	60,901	
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	▲ 254,279	▲ 317,716	▲ 63,437	
		その他の固定資産	2,556	3,517	961	正味財産の部合計	▲ 254,279	▲ 317,716	▲ 63,437	
	資産の部合計		394,492	391,956	▲ 2,536	負債及び正味財産の部合計		394,492	391,956	▲ 2,536
備考	「物件費」は施設の管理運営、「維持補修費」は施設の修繕等に係る経費である。行政収入の「使用料及び手数料」は、労働組合事務室等の使用料で、「その他」は自動販売機等の電気使用料等及び軽小型貨物車の廃車に伴う自動車重量税の還付金等である。「その他の固定資産」は重要物品(清掃車両等)の減価償却後の現在価格である。									

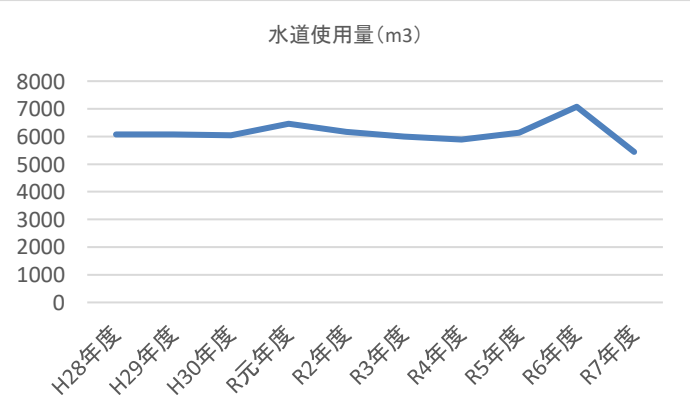
	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	73	75	76.8	78.2	
	1㎡あたりコスト（円）	341,170	399,110	380,517	442,366	
備考	コスト（行政費用）について大きな変動はないが、減価償却率は改修工事等により変動する。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無 ○ 有（計画名： ）						
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
		目標値 実績値					
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他（ ）						
管理形態の変更の推移	○ 有（変更内容： ） ● 無						
利用者・地域のニーズ							
現状・課題	○他の公共施設に比べ経過年数の長い施設であり、引き続き大規模改修を計画的に実施するとともに、予防保全の観点から不具合が発生しないよう、修繕等を計画的に実施する必要がある。 ○廃棄物収集・運搬に係る区職員の減少に伴い、代替となる雇上会社清掃車両等の駐車スペースが、将来的に不足する可能性がある。						
課題に対する現時点での考え	○公共施設等総合管理計画等に基づく計画的な大規模改修を実施するとともに、施設・設備の保守点検等の維持管理を適切に実施するほか、修繕等により機能保全を継続する。 ○南千住清掃車庫の有効活用を図る等、清掃車両等の待機スペースの確保に努めていく。						
議会、利用者等からの意見							



電気使用量はほぼ横ばいである。



水道使用量は横ばいである。

I 施設の概要		施設コード		S07-02-02			
施設名		南千住清掃車庫					
所在地		南千住四丁目1番8号					
部課名		環境清掃部清掃リサイクル推進課					
施設の履歴		時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)			
				国・都	区債	一般財源	
		建築	平成12年2月	380,197			
		増改築①					
		増改築②					
併設施設							
竣工年月日		平成12年2月		区職員	その他		
供用開始年月日		平成12年4月	職員数	4人			
構造		鉄骨造	階層	管理棟: 地上3階 洗車棟: 平屋			
面積		敷地面積	1,900 m ²				
		延床面積	管理棟: 994.80m ² 洗車棟: 123.52m ² m ²				
設置目的・経緯		廃棄物の収集・運搬に使用する清掃車両の駐車・点検整備等 ※清掃事業の区移管(平成12年4月)					
関連部署		環境課					
根拠法令等 設置条例		廃棄物の処理及び清掃に関する法律 荒川区廃棄物の処理及び再利用に関する条例等					
駐車場の状況		有	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ		
駐輪場の状況		有	対応状況	●点字ブロック	○スロープ		



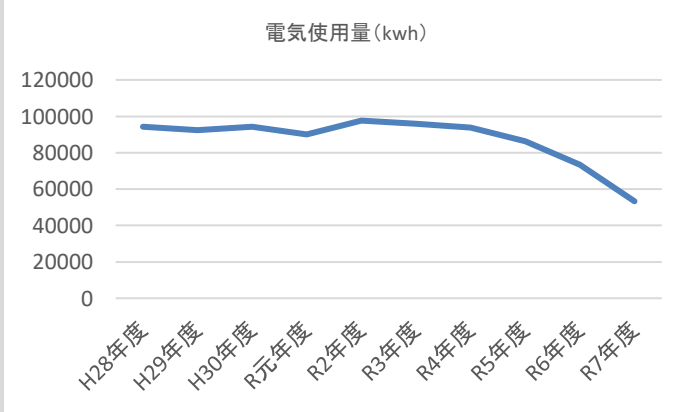
管理形態	直営	—	期間	—	から まで	
事業内容	廃棄物の収集・運搬に使用する清掃車両駐車スペース、清掃車両の点検整備・洗車業務、清掃リサイクル業務等従事職員の執務室等					
対象者	清掃リサイクル推進課職員、区民・事業者					
運営時間等	運営時間	午前7時40分～午後4時25分				
	休日	日曜日、年末年始の指定日				
施設基本データ等		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
	作業（開所）日数（日）	310	310	310	310	310
	電気使用量（kwh）	93,809	86,167	73,385	53,299	—
	ガス使用量（m3）	6,902	6,301	2,946	1,031	—
	水道使用量（m3）	1,902	1,852	1,427	778	—
に指定 用等 管理 費理						
備考	電気、ガス、水道の使用量はほぼ横ばいである。					

行政コスト計算書	勘定科目			R6年度	R7年度	差額	勘定科目			R6年度	R7年度	差額
	行政費用	給与関係費		55,745	26,119	▲ 29,626	行政収入	地方税等	0	0	0	
		物件費		8,816	8,131	▲ 685		国庫支出金	0	0	0	
		維持補修費		8,640	1,576	▲ 7,064		都支出金	0	0	0	
		扶助費		0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0	
		補助費等		0	0	0		使用料及び手数料	75	78	3	
		減価償却費		14,951	15,320	369		その他	58	37	▲ 21	
		不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0		行政収入合計(a)	133	115	▲ 18	
		賞与・退職給与引当金繰入額		5,132	5,652	520		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 93,151	▲ 56,683	36,468	
		その他行政費用		0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0	
行政費用合計(b)			93,284	56,798	▲ 36,486	通常収支差額(c)+(d)=(e)			▲ 93,151	▲ 56,683	36,468	
特別費用(g)			0	0	0	特別収入(f)			0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)			0	0	0	当期収支差額(e)+(h)			▲ 93,151	▲ 56,683	36,468	
貸借対照表	勘定科目			R6年度	R7年度	差額	勘定科目			R6年度	R7年度	差額
	流動資産	収入未済		0	0	0	流動負債		3,220	1,535	▲ 1,685	
		不納欠損引当金		0	0	0		還付未済金	0	0	0	
		その他の流動資産		0	0	0		特別区債	0	0	0	
	固定資産	有形固定資産		849,755	834,434	▲ 15,321	賞与引当金	3,220	1,535	▲ 1,685		
		土地		733,400	733,400	0	その他の流動負債	0	0	0		
		建物		435,362	435,362	0	固定負債	56,551	27,694	▲ 28,857		
		建物減価償却累計額	▲ 319,007	▲ 334,327	▲ 15,320	特別区債	0	0	0			
		工作物等		64,856	64,856	0	退職給与引当金	56,551	27,694	▲ 28,857		
		工作物等減価償却累計額	▲ 64,856	▲ 64,856	0	その他の固定負債	0	0	0			
		無形固定資産		0	0	0	負債の部合計	59,771	29,229	▲ 30,542		
		建設仮勘定		0	0	0	正味財産	789,984	805,205	15,221		
		その他の固定資産		0	0	0	正味財産の部合計	789,984	805,205	15,221		
	資産の部合計			849,755	834,434	▲ 15,321	負債及び正味財産の部合計			849,755	834,434	▲ 15,321
備考	「物件費」は施設の管理運営、「維持補修費」は施設の修繕等に係る経費である。行政収入の「使用料及び手数料」は敷地内へのマンホール・電柱の占用に係る使用料で、「その他」は自動販売機等の電気使用料である。											

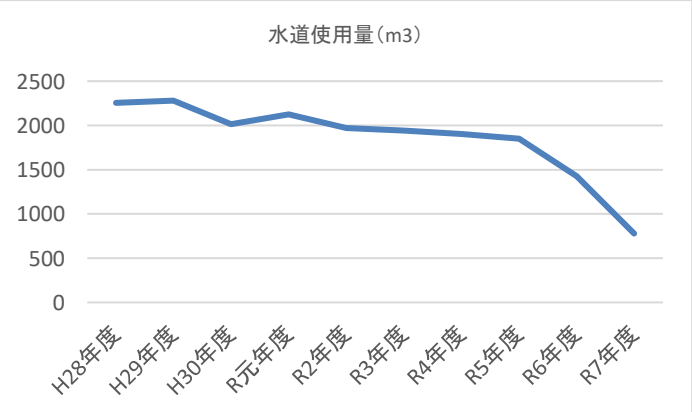
	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	74	75	76.7	79.8	
	1㎡あたりコスト（円）	77,992	73,982	83,414	50,789	
備考	コスト（行政費用）について大きな変動はないが、減価償却率は改修工事等により変動する。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
		目標値					
		実績値					
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合		○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	地元町会への施設開放等						
現状・課題	○竣工から約25年が経過し、引き続き大規模改修を計画的に実施するとともに、予防保全の観点から不具合が発生しないよう、修繕等を計画的に実施する必要がある。 ○保有清掃車両台数は減少しているが、感染防止対策・熱中症対策やプラスチック回収を目的とした雇上会社清掃車両等の待機場所としての活用を行っている。						
課題に対する現時点での考え	○公共施設等総合管理計画等に基づく計画的な大規模改修を実施するとともに、施設・設備の保守点検等の維持管理を適切に実施するほか、修繕等により機能保全を継続する。 ○感染防止対策・熱中症対策やプラスチック回収を目的とした雇上会社清掃車両等の待機場所としての活用を継続し、今後、リサイクル関連物品の保管スペースや将来的な清掃リサイクル事務所における駐車スペース不足への対応等、さらなる有効活用を検討していく。						
議会、利用者等からの意見							



電気使用量はほぼ横ばいである。



水道使用量はほぼ横ばいである。

I 施設の概要		施設コード		S07-02-03			
施設名		あらかわりサイクルセンター					
所在地		荒川区南千住三丁目28番69号					
部課名		環境清掃部清掃リサイクル推進課					
施設の履歴		時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)			
				国・都	区債	一般財源	
		建築	平成28年	862,058			862,058
		増改築①					
		増改築②					
併設施設		-					
竣工年月日		平成28年9月16日		区職員	その他		
供用開始年月日		平成28年10月10日	職員数	5			
構造		鉄骨造	階層	2階			
面積		敷地面積	1,999 m ²				
		延床面積	1,578 m ²				
設置目的・経緯		資源の長期的かつ安定した中間処理や資源の処理工程の見学、体感学習等の普及啓発事業を行う。					
関連部署							
根拠法令等 設置条例		廃棄物処理法第6条の2第1項 容器包装リサイクル法第6条第1項					
駐車場の状況	2台	バリアフリー	● エレベーター	● トイレ			
駐輪場の状況	20台	対応状況	● 点字ブロック	○ スロープ			



管理形態	直営	—	期間	—	から
				—	まで

事業内容	(1) 区内から回収した資源（びん、缶、トレイ、ペットボトル）の中間処理 (2) 区内の小学校等の施設見学会の実施、及び各種団体の見学受入。 (3) リサイクル資源を使った工房・教室の実施
------	--

対象者	区民
-----	----

運営時間等	運営時間	午前8時30分～午後5時15分
	休日	日曜日、年末年始

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
施設基本データ等	開館日数	310	310	310	309	310
	来場者数（団体見学、工房等）	2,130	2,383	2,341	2,567	2,600
	工房・教室回数	74	78	82	81	80
	工房・教室参加者数	364	425	525	428	420
	工房・教室参加率（％）	74	69	84	69	70
	施設見学実施小学校数	24	24	24	24	24
	資源中間処理量（t）	2,853	2,824	2,809	2,815	2,828
指定管理に係る費用等						

備 考	平成29年度から区内小学校全24校の施設見学を実施している。（令和2年度は感染症拡大防止のため中止）
	令和2～4年度の工房・教室は実施規模を縮小して実施。5年度から従前規模に戻し6年度は出張工房を2回実施。資源中間処理量は令和元年度まで微増、令和2年度は増加幅が大きくその後は同程度の状態が続いている。

		勘定科目	R6年度	R7年度	差額			勘定科目	R6年度	R7年度	差額
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	27,271	28,707	1,436	行政収入	地方税等	0	0	0	
		物件費	33,326	29,258	▲ 4,068		国庫支出金	0	0	0	
		維持補修費	895	327	▲ 568		都支出金	0	0	0	
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0	
		補助費等	0	0	0		使用料及び手数料	649	636	▲ 13	
		減価償却費	36,468	36,468	0		その他	81	78	▲ 3	
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	730	714	▲ 16	
		賞与・退職給与引当金繰入額	2,511	6,212	3,701		行政収支差額(a)－(b)=(c)	▲ 99,741	▲ 100,258	▲ 517	
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	▲ 268	▲ 231	37	
	行政費用合計(b)		100,471	100,972	501	通常収支差額(c)＋(d)=(e)		▲ 100,009	▲ 100,489	▲ 480	
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0		
特別収支差額(f)－(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)＋(h)		▲ 100,009	▲ 100,489	▲ 480		
		勘定科目	R6年度	R7年度	差額			勘定科目	R6年度	R7年度	差額
貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債		37,904	38,053	149	
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	36,329	36,366	37	
	固定資産	有形固定資産	542,687	506,219	▲ 36,468	賞与引当金	1,575	1,687	112		
		土地	0	0	0		その他の流動負債	0	0	0	
		建物	767,791	767,791	0		固定負債	231,812	198,220	▲ 33,592	
		建物減価償却累計額	▲ 276,016	▲ 310,518	▲ 34,502	特別区債	204,147	167,781	▲ 36,366		
		工作物等	66,636	66,636	0	退職給与引当金	27,665	30,439	2,774		
		工作物等減価償却累計額	▲ 15,724	▲ 17,690	▲ 1,966	その他の固定負債	0	0	0		
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	269,716	236,273	▲ 33,443		
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	272,971	269,946	▲ 3,025		
		その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	272,971	269,946	▲ 3,025		
		資産の部合計		542,687	506,219	▲ 36,468	負債及び正味財産の部合計		542,687	506,219	▲ 36,468

備考	物件費の主な支出は、光熱水費、施設の維持管理に係る保守委託料、土地賃借料である。行政収入の「使用料及び手数料」は、施設運営の委託業者からの目的外使用料であり、「その他」は同委託業者からの目的外使用に伴う光熱水費受入である。
----	--

